施策評価シート

登録者(課長)名【1】	みどり公園課長 森下　直彦
主管課(関係課)【2】	みどり公園課

【施策の概要】

施策名【3】		分野【4】	まちづくりの方向性【5】
環1-1	みどりの保全・活用	みどりの保全と創出を進めるために	環境にやさしいまちづくり

	施策全体の課題【6】	施策実現へむけたキーワード【7】	施策の目標【8】
概要	市内には公園や農地などのみどりが存在しています。 身近なみどりは、地球温暖化や公害などの環境問題の防止に役立つとともに、わたしたちの日常生活にやすらぎをもたらします。 本市では、ボランティアの育成や支援、樹林・樹木・生垣の保存の支援などにより身近なみどりの保全・活用に取り組んできましたが、相続や都市開発などの影響から、みどりの総量は、減少する傾向となっています。 次世代に身近なみどりを残し、良好な環境を引き継いでいくためにも、市民との協働による取組や市民の自発的な緑化活動を支援し、みどりの保全を進める必要があります。 また、農地を保全する取組みを進めることにより、貴重なみどりの空間を確保することも必要です。	◆市民と協働した公園の維持・管理 ◆市民と農業のふれあいや交流	市民との協働による公園管理のしくみや、農地や樹木、樹林、生垣などを維持するしくみを整え、身近なみどりの保全・活用をめざします。

留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】

◇都内各市と比較し公園総面積では中位であるものの、一人当たりの公園面積が26市中下位となっています。小さな公園が分散配置されるなど、地域によって公園が充実している地区と公園が少ない地区もあるなど地域格差が課題となっています。
◇開発に伴う提供公園など小規模公園や緑地が増加し、維持管理経費の増加を考慮すると、効率的な維持管理はもちろんこと、利便性の向上も含め、市民と協力して維持管理することがますます求められ、公園ボランティアの拡大が重要となっています。
◇少子高齢化社会を踏まえ、高齢者等の健康づくりに有効な公園ボランティアへの参加を促進する施策が求められています。

事業群		事業群名【10】	事業群の施策上の位置づけ【11】
	1	みどりを保全・活用するしくみを形成します	緑地を保全・活用する仕組みの形成
	2	農地の多面的機能を活用し、保全につながる取組を進めます	都市と農業が共生するまちづくり事業の推進

【施策の成果】

成果指標【12】				年度	24	25	26	27	28	29
	指標1	名称	「みどりの保全・活用」に対する満足度	目標値	38%			単位	%	
		説明・算出式	市民のみどりに対する意識啓発を高めるために、市が行っている「みどりの保全・活用」の取組に対する評価を、市民意識調査の「市民満足度」により把握します。	実績値	35.6	35.6	35.6	35.5	35.5	43.4
				達成率	94%	94%	94%	93%	93%	114%
	指標2	名称	公園ボランティア登録会員数	目標値	800人			単位	人	
		説明・算出式	公園のみどりを保全する上で担い手の確保が重要です。この担い手としての公園ボランティア登録会員数を増やすことを目標とします。	実績値	726	895	873	896	960	
				達成率	91%	112%	109%	112%	120%	0%
	指標3	名称		目標値				単位		
		説明・算出式		実績値						
				達成率						
	指標4	名称		目標値				単位		
		説明・算出式		実績値						
				達成率						
	達成率の平均値				93%	103%	102%	103%	107%	57%

【市民意見】【13】

24年度		27年度		29年度	
満足度(%)	35.6%	満足度(%)	35.5%	満足度(%)	43.4%
満足度(平均ポイント)	0.08	満足度(平均ポイント)	0.09	満足度(平均ポイント)	0.27
重要度(%)	74%	重要度(%)	76.2%	重要度(%)	76.6%
重要度(平均ポイント)	1.07	重要度(平均ポイント)	1.14	重要度(平均ポイント)	1.23

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】	□まだ未達成　□ほぼ達成　■目標を大きく上回る
		意識調査での満足度【15】	□平均を下回る　□ほぼ平均　■平均を上回る

施策の成果と課題(取組成果や目標達成に向けた課題、成果向上・コスト削減策等)【16】

◇みどりの保全・活用については、西原自然公園の植生・維持管理の取り組みとして、平成27年に策定した「西原自然公園植生管理計画」に基づき、市民ボランティア団体である「西原自然公園を育成する会」が主体となり、雑木林間伐作業や植栽更新などを行っています。また、近隣の中学生が参加する下草刈などのイベントを通じた事業により植生管理の学習にも寄与しています。
◇平成24年度に都市計画決定した下保谷四丁目特別緑地保全地区については、平成25年度より5か年に亘り順次用地の買い取りを進めています。また、従前から維持管理されてきた市民ボランティア団体との新たな協働により、屋敷林としての保全を行います。
◇公園ボランティア登録者数は、目標値を上回っているものの、小規模公園が数多く点在する本市の公園を維持管理していくためには、更なる市民ボランティアとの協働が必要となっています。

検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】	□弱くなっている　□以前と同程度　■強くなっている
		意識調査での重要度【18】	□平均を下回る　□ほぼ平均　■平均を上回る

今後の方針(具体的な事業群や事務事業を示しながら)【19】

◇みどりの保全・活用については、西原自然公園植生管理事業にみられる「西原自然公園を育成する会」との協働事業を促進していきます。雑木林の植生管理には10年以上をサイクルとした長期にわたる継続的、計画的な取組みが必要であるため、主体的な担い手となる公園ボランティアの継続的な育成を促進していく必要があります。
◇下保谷四丁目特別緑地保全地区については、引き続き市民協働により保全と活用に向けて取り組んで行きます。
◇公園ボランティアの登録者数は、高齢者が多数を占めていますが、高齢者全体からみればまだまだ少ないのが現状で、高齢者が生きがいを持ち、健康な暮らしを送る機会ともなる公園ボランティアの育成を進めます。また、次代を担う若年層や子育て世代の年齢層など多様な世代の育成が必要です。

総合評価			
	施策内容の方向性【20】	■拡充　□現状維持　□絞込み	
	施策実施コストの方向性【21】	□重点化　□現状維持　■効率化	
	施策実施方針【22】	Ⅲ	成果の向上を図りつつ、コストを抑制する施策領域

【一次評価後の事情変更等】

説明【23】	

【行革本部評価】

総合評価			
	施策内容の方向性【20】	□拡充　■現状維持　□絞込み	
	施策実施コストの方向性【21】	□重点化　□現状維持　■効率化	
	判断理由等【24】	みどりの保全・活用については、市民との協働による西原自然公園の植生・維持管理や下保谷特別緑地保全地区の取得など、緑の保全に努めてきています。 市民意識調査結果では、前回調査と比べ満足度・重要度に大きな変化は見られませんが、引き続き満足度は高くなっています。 若年層や子育て世代を含む、多様な世代の公園ボランティアの育成に取り組むとともに、開発に伴う提供公園などの小規模公園や緑地の維持管理費を抑制するなど、実施コストの抑制に努めるべきと判断しました。	
	施策実施方針【22】	Ⅵ	成果を維持しながら、コストを抑制する施策領域

【施策内の事務事業貢献度判定】　　環1-1 みどりの保全・活用

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】	総コスト(千円)：評価年度【28】	事業費	人件費	事務事業の評価(直近)【29】	26市のサービス水準との比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度【32】
1	西原自然公園の植生・管理	みどり公園課	市内でも数少ない貴重な樹林を有する西原自然公園において、樹林の再生を目的とする更新作業などを行い、主林木であるクヌギやコナラの成長等を促すため、市民団体である「西原自然公園を育成する会」と協働で植生管理を行っています。更新区域約２万㎡を20年かけ１年に１千㎡の割合で面的に伐採を行い、伐採材は市民に無料配布し有効利用を図っています。	4,654	2,992	1,662	改善・見直し（平成25年度）	上	市民団体との協働による植生管理により、西原自然公園の樹林地としての再生が図られると共に、子供たちを含めた市民の自発的な緑化活動への参加が促進されます。	B
	公園ボランティアとの協働	みどり公園課	市の管理する公園緑地は、地域の憩いとコミュニケーション場でもあります。自主的に参加する市民及び団体による活動を促進し、みどりに親しみ、みどりの保全への意識を高めていき、市民協働による公園緑地の管理運営を推進していくことで、維持管理経費を抑制していく必要があります。 また、公園管理協力会員には、ゴミ袋やホウキ等の必要な用具を貸与し引き続き支援していきます。	4,657	502	4,155	改善・見直し（平成25年度）	中	公園ボランティアの方々と協力することで、公園等を安全かつ快適に利用できる場所として提供することができると共に、市民の自発的な緑化活動への参加が促進され、みどりの保全への意識を高めていくことに繋がります。	B
事業の合計				9,311	3,494	5,817				